八千代市消費生活センター

令和 6 年度 10 月新規受付相談件数

	当　月　分	前　月　分	年度累計
苦　　情	88 件	100 件	595 件
問い合わせ	8 件	7 件	69 件
要　　望	0 件	0 件	0 件
計	96 件	107 件	664 件

相談の傾向と被害に遭わないための注意点

１０月の相談件数は前月に比べ１１件減少し９６件でした。年齢別では６５歳以上の高齢者は３５件で３７％を占め、そのうち７５歳以上の後期高齢者の相談は１９件で、販売形態別の内訳をみると、通信販売が３４件、店舗販売が１９件、訪問販売が２０件、電話勧誘販売が４件となっています。

通信販売の定期購入のトラブルは依然として減らないが、申し込み完了後に新しい種類の無料お試し品をセットした別のコースに変更されてしまう新しい手口も発生しています。この商品の広告では「定期縛りなし」と表示があり、購入者は申込時にお試し 1 回だけの支払額を確認するが、次の画面で、お試し商品を受け取るボタンを押すと、初回の数量や支払額が増え、更には定期購入となっているというようなトラブルが多い状況です。

このような定期購入については、きっかけとなる SNS 広告の優良誤認に関する注意喚起や事業者に対する処分等についても、消費者庁などの WEB サイトで公表していますので参考としていただきたいと思います。

高齢者の相談では前月に引き続き、給湯器の点検商法の消費者トラブルが 7 件あり、給湯器工事の時に新たに排水管や分電盤の点検をして、工事の必要性を迫る手口も相変わらず続いています。このことから、逆に電気の法定点検であったものを悪質業者の勧誘と間違え、センターへ問い合わせする方も多くありました。

また、中央官庁や通信会社を名乗り不審な電話を掛け、金銭を支払わせようと

する手口が続いているほか、過去に海産物を購入した事業者から強引な勧誘を受けたというケースもありました。

　いずれにしても、非通知や相手先が不明な電話には出ないことや、留守番電話にすることで対策を講じるとともに、もし電話に出てしまった場合でも、きっぱりと断ることを徹底していただき消費者トラブルの発生防止に努めていただきたいと思います。